

2021

掛川市地域部活動推進事業報告書



掛川市では、「中学校区学園化構想」による園・学校と地域の教育力向上や、「かけがわ教育の日」による市民とともに考える教育の振興など、市民総ぐるみの教育に取り組んでいます。部活動についても、従来のように学校だけが担うのではなく、家庭や地域との連携・協働により活動することで、子どもから大人までが生涯にわたってスポーツや文化に親しむことができるようになると考えています。

本年度は、この市民総ぐるみの部活動の実現へ向けて、水泳部と吹奏楽部をモデルにして実践的な研究を行いました。この研究成果をもとに、部活動を地域へ展開し、夢とところざしをもち、ともに学び、豊かな未来を創造する人づくりにつなげていきます。

掛川市教育委員会教育長 佐藤嘉晃

令和4年1月
掛川市教育委員会



運動部の地域展開

10月から1月まで、平日週1回、休日週1回の市内水泳部の活動を掛川市スポーツ協会が運営する掛川水泳クラブの活動に代えて実施しました。生徒にとっては専門的できめ細やかな指導を受けることが可能になりました。また、水泳部顧問にとっては、時間外勤務時間の大幅な減少につながりました。

部活動の地域クラブ化 ～掛川水泳クラブ3つのチャレンジ～

地域指導者

水泳の指導経験が豊富な地域指導者による専門的な指導が行われました。効率的で効果的な練習計画の作成や、個々の習熟度に応じた課題の提示など、質の高い指導体制が整えられました。

また、地域指導者を対象とした研修会を全2回開催しました。大学教員や理学療法士を招いて、コーチングやスポーツ障害の予防などを学ぶ機会を提供しました。

平日地域移行

今回の実践研究では、平日の部活動の地域移行にも取り組みました。平日と休日に同じ地域指導者が指導に関わることで、継続的な指導を行うことが可能になり、生徒は戸惑うことなく活動に取り組むことができます。

また、夜間に活動時間を設定することで、冬季の活動時間確保および地域の指導者が関わりやすい体制となりました。

事務局管理

今回の掛川水泳クラブの管理事務局は、掛川市スポーツ協会が担いました。会員の申込手続きや保険加入、会場管理、指導者への謝金支払いなどのクラブ運営に関する事務を事務局が担うことで、指導者の指導以外に掛かる負担を大きく軽減し、指導者が指導に専念できるようになりました。



掛川市スポーツ協会HP

いつもの部活動とは違って、専門的なところまで細かく教えてもらえるので、たくさん学ぶことができています。また、自分の学校だけでは人数が少なく寂しいけれど、2校が集まることで切磋琢磨できています。



生徒

アンケート「地域クラブでの活動に満足している」94%
冬季（10～12月）の火曜日の活動時間 昨年度比244%（9時間→22時間）

さんりーなまでの送迎が、親も仕事していると都合つての対応となるので、平日は早くなると厳しいと思います。



保護者

中学生段階で、高校指導レベルの練習を継続的に行えることは、非常に大きな経験です。経験豊富な専門の指導者は、競技レベルに応じた指導を行える上、スポーツを通じた人間形成や社会性獲得にも重点を置いており、そうした学びは必ずしも学校部活に限られないと思います。

アンケート「地域クラブでの指導に満足している」79%

きめ細やかな指導をしていただきました。自分自身も、放課土日を含め、自分の時間を取れることで、非常に負担軽減を感じています。放課後や休日に時間のゆとりが生まれ、落ち着いた生活を送ることができました。



教員

10～1月の休日の部活動従事時間100%減（約25時間）
10～1月の平日の部活動従事時間38%減（約10時間）
※前年度比



令和3年10月掛川水泳クラブ練習会
東遠カルチャーパーク総合体育館さんりーな

文化部の地域展開

令和2年度に新設された音楽活動を行う地域クラブ「特定非営利活動法人掛川文化クラブ（以下、KCC）」と協働して、新規の文化系地域クラブの運営と中学校の吹奏楽部の地域連携に取り組みました。週に2回、市内中学校や公共施設を拠点に、小中学生や高校生、大学生、地域の楽団員と共に充実した活動を行いました。また、市内の中学校吹奏楽部員を対象とした体験会を設け、多くの中学生に地域クラブで活動することのよさを味わっていただきました。

プレイヤー & コーチ

KCCの指導者はその多くが現役の地域楽団員です。「教えた子どもがいつか楽団に所属してもらえたらうれしい」と、指導に関わった楽団員が話すように、地域クラブでの活動は生涯にわたって文化活動に親しむきっかけになります。指導を受けた子どもが、やがて大人になって地域の指導者になるという循環も期待されます。

多様性 & クラブ

今回の地域クラブは週に1～2回の活動回数です。そのため、他の習い事に取り組みながらクラブ活動に参加した児童生徒もいました。また、中学生だけでなく、小学生や高校生、大学生や地域の楽団員が活動に参加し、世代を超えて音楽に親しむことができました。子どもたちが、生涯に渡って音楽活動を続けることにつながることも期待されます。



他の習い事もしているので、活動日が週1～2回の掛川文化クラブに入部しました。小学校から続けている音楽は続けたかったので、このようなクラブがあってよかったです。



みんなで合わせる楽しさを知ることができてうれしかったです。様々な曲も練習できて楽しいです。



アンケート「掛川文化クラブでの活動に満足している」100% クラブ会員

様々な学校や、大人の方と演奏や教え合いができて楽しかったです。また、まだ知らないことや挑戦していないことを知りました。



吹奏楽交流会
参加生徒

他校の人や地域の人たちとできて楽しかったです。自分が知らなかったことやできないことなど優しく教えてくれました。丁寧に分かりやすかったです。

アンケート「吹奏楽交流会の活動に満足している」92%

子どもの成長が感じられてうれしかったです。いつか、一緒に演奏を楽しめる関係になったらいいなと思いました。



クラブ役員
地域楽団員

ここで教えている子どもがいつか自分の隣で吹いているのかな。「しっかり吹いてよ！」って叱られないようにしないと…。でも楽しみだね。

アンケート「中学生に指導することが楽しい」92%



掛川文化クラブHP

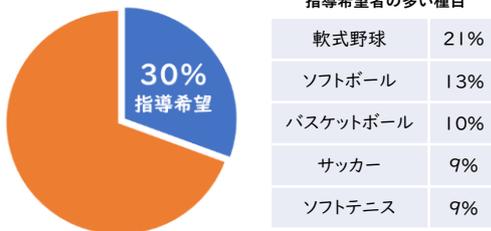
部活動の地域展開の課題

1 人に関すること

- ・地域指導者の確保
- ・教員の兼職兼業の在り方

地域クラブを持続可能な体制とするためには、一定数の地域指導者が必要です。地域のスポーツ協会や競技協会、スポーツ少年団等と連携して、地域から指導者を募集することを考えています。

また、下の図のとおり、市内中学校教員の約3割は地域移行後もクラブでの指導を希望しています。本務に支障が出ないような兼職兼業の在り方を周知しなければなりません。



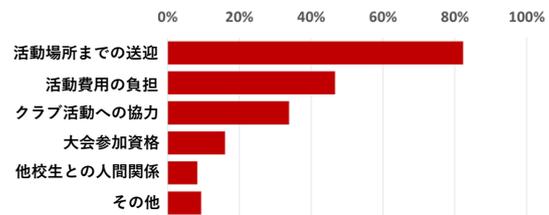
令和3年5月 掛川市部活動アンケート
「部活動の地域移行後もクラブの指導者として関わりたいか」

2 家庭の負担に関すること

- ・クラブ運営費用の負担
- ・会場までの移動

地域でクラブ活動を行う場合、指導者の報酬や事務局運営費、会場費、用具費用などの費用負担が発生します。持続可能な体制づくりのために、受益者負担の考え方についても理解を得る必要があります。

また、子どもが地域クラブで活動することに賛同できない家庭の8割以上は活動場所までの送迎を理由に挙げています。できるかぎり、住んでいる地区で活動できる環境を整備することが重要です。



令和3年5月 掛川市部活動アンケート
「子が地域クラブに参加することについて賛成できない理由」

3 物・場所に関すること

- ・学校施設の活用と整備
- ・備品の保管、共有

掛川文化クラブは、市内中学校の校舎内で活動しています。学校部活動と同様に地域クラブが学校施設を活用できることで、各家庭の費用負担を大きく軽減できます。また、楽器のように、必要な備品の保管もできるため、生徒の活動場所までの移動が容易になります。



令和3年10月16日 掛川文化クラブ活動
掛川市立中学校の音楽室や多目的室、被服室などを利用して活動

4 成果発表の場に関すること

- ・既存の大会への参加資格
- ・地域人材による大会運営

少子化により、1つの学校だけで運営することが困難な部活動が増えています。既存の大会やコンクールへの参加資格の変更や新規の成果発表の場が必要です。

また、大会運営についても、地域団体が主体となって運営できる体制の整備が必要です。



令和3年11月27日 吹奏楽交流会
市内吹奏楽部員や地域の楽団員、高校生や大学生が一堂に会して大会奏

市民総ぐるみの持続可能な部活動へ ～誰もがチャレンジできるまち、掛川～

1 自分が興味があることにチャレンジ

市内部活動アンケートでは、小学4年生から6年生の4人に1人が学区の中学校に入りたい部活動の種目がないと回答しています。また、ニーズ調査の上位10種目のうち半数はバドミントンやプログラミング、ダンスなど、現在の部活動にない種目です。

学校単位ではなく広域に参加可能なクラブやニーズに応じたクラブが設立されることで、子どもは多種多様な選択をすることができるようになります。

掛川市はすべての子どもが自分がやりたいことにチャレンジできるまちです。

2 「する」から「支える」にチャレンジ

クラブの指導者は、指導を希望する教員も含めた地域全体です。部活動で活動した方、トップ選手として活躍した方、誰もがその経験を生かすことができます。そして、地域の指導者が指導した生徒が、将来は地域の指導者となり、持続可能な指導体制が整います。もちろん、多感な時期を迎える中学生への指導は簡単ではありません。掛川市では、充実した研修体制で指導者をサポートします。

「する」楽しみから「支える」楽しみへ。掛川市は誰もが指導者としてチャレンジできるまちです。

地域クラブの茶畑モデル ～指導者の循環～



あなたの夢、
描いたつづきは
掛川で。

掛川市ブランドメッセージ



プロ選手、演奏家
トッププレイヤー



競技志向の活動

目標へ向けて鍛錬・切磋琢磨



レクリエーション志向・健康志向の活動

様々な年代の仲間と共に活動を楽しむ

地域クラブ指導者

「教える・支える」
「ともに活動する」

楽しさ

世界農業遺産「茶草場農法」

茶畑の周りに点在する草地（茶草場）からススキやササなどの草を刈り取って、秋から冬にかけて茶畑に敷く農法です。この農法で作られたお茶は味や香りがよいことで高い評価を得ています。地域クラブの運営についても、地域の人材を大切にしたい持続可能な体制をつくりたいと考えています。



掛川市の地域部活動への期待

地域部活動研究委員会 座長
日本部活動学会 副会長
学習院大学 教授 長沼 豊

掛川市の地域部活動が動き出しました。

一般的には部活動の学校からの地域移行と言われてしていますが、掛川市では「地域展開」と呼んで推進していきます。その理由は、移行と言うと、これまで学校で実施してきた部活動をそのまま移すというイメージが先行してしまうからです。現実には、そのまま移すのは活動内容、方法、運営、指導者、資金、場所等のことを考えても無理があります。地域の皆さんが協力して、できるところから始めていくのが得策です。例えば、部活動というと中高生だけのイメージがありますが、地域展開した際は、中高生だけのクラブがあっても良いですし、小さい子から大人までと一緒に活動するクラブもあってよいのです。今までの学校の部活動というイメージにこだわらず、市民の皆さんが地域ごとにクラブを創ってより良い活動を展開していくのです。ちなみに「クラブ」は、英語のクラブの当て字ですが、これは「ともに（倶）楽しむ（楽）場所（部）」という意味で、地域部活動の趣旨と合致しています。

今後の少子化の進展を考えると、学校の部活動は、ますます廃部にならないといけなくなり、自分のやりたい活動が学校では出来なくなってしまいます。そこで今から手を打って地域展開を進めておく方が持続可能な形になります。つまり、スポーツ活動であれ文化活動であれ、子どもたちのやりたい活動が、市内に必ず用意されているという状態を目指すのです。生涯学習都市を宣言した掛川市にぴったりではありませんか。

活動の指導者についても、これまでの学校の先生（サービス残業、無償奉仕）に依存した形では持続可能ではありません。地域全体で子どもたちの活動を支えていく仕組みを創るのです。とはいえ、今まで部活動を牽引してこられた先生の中で、今後も継続して指導したいという先生には、兼業で地域クラブに関わる方法を確保する仕組みも必要です。単に勝つことを目指すのではなく、チームワークを育てることや礼儀など教育的な視点（部活動の教育力）は先生方の指導から学ぶ点が多々あります。地域クラブでは、お手本となって地域の指導者に伝授していただきたいのです。

地域部活動研究委員会では、これまでどのようにすれば無理なく地域展開が出来るか協議してきました。ぜひ掛川市民の皆様の知恵と実行力、子どもたちを思う気持ちを結集して、地域部活動をより良いものにしていきましょう。



令和3年度地域部活動研究委員会

長沼 豊	学習院大学文学部教育学科教授
石山 近	掛川市立西中学校長
城下 俊介	掛川市立城東中学校長
増田 有希	掛川市立東中学校教諭
熊膳 佳美	掛川市立西中学校教諭
片桐 優樹	掛川市立城東中学校教諭
中山 善文	掛川市文化・スポーツ振興課課長
小池 正浩	特定非営利活動法人掛川市スポーツ協会 スポーツプロモーション課長
小田つとむ	公益財団法人掛川市文化財団事務局長
佐藤 真澄	特定非営利活動法人掛川文化クラブ理事長
宮崎 文秀	静岡県教育委員会教育部参事兼義務教育課長
竹村 祐	静岡県教育委員会健康体育課参事
運営事務局	静岡県教育委員会健康体育課・義務教育課 掛川市教育委員会教育政策課・学校教育課

実践研究に協力いただいた地域団体

特定非営利活動法人掛川市スポーツ協会
特定非営利活動法人掛川文化クラブ



東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」

〒436-8650

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1
掛川市教育委員会教育政策課

TEL 0537-21-1109 FAX 0537-21-1222

